滿州日報

紅糧價錢五吊四百文至五吊
市共上車三千餘輛
東共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　全　一圓
一フールスカップ　全　四圓
一中判洋紙　全　二圓
一牛紙野紙　百枚　二十錢
一卷紙　四十枚綴　十二四錢

一椅子　一圓五十錢以上四圓五十錢
一蒸籠　三十圓以上三十五圓
一卓子　四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛　六圓以上十二圓
一廚房用戶棚　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢　二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢　一對　六圓以上九圓

○報價目
每月收取入角代費所及送費人丼無分臺加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減　每張四百文

Payable in Advance. Postage Included.
- The Manchuria Daily Report Office. Newchwang.
Telephone No. 29.

一長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社（電話二九番）

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫勤　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十番　支配人室　百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

來ル二十六日（清曆端午節）臨時休業仕候也
六月二十三日
橫濱正金銀行
牛莊支店

日本郵船株式會社
瀛船出帆廣告
●山東丸　廿八日出帆　太沽　芝罘　門司　神戶行
●橫濱丸　大連出帆　七月六日　大連出帆　門司　神戶行
乘船切符發賣は出帆前三時間マデ
末明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船出帆廣告
第三盛運丸　廿三日門司行
勢德丸　廿五日門司行
日勝丸　二十五日門司行
松茂洋行船舶部
海岸東稅關西　電話（五二）（五七）

新荷着
朝日ビール、スペシャルライト
廉價販賣仕候
滿洲一手販賣元
松茂洋行商品部（電話五二番）

宅洋行
啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋燭火柴鐵表等類價值格外克已並且貨眞價實以致敝行名譽日增前蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業所便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周詳倘可面商一切事宜幸中外士商惠其誠實無欺惠臨賜顧局勝榮幸之至
總司理人　田中賴之助謹白
開設老爺閣街同盛德院內　電話（店一八三番　住所五五番）

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜儲存有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水腳棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人　葉亮卿謹白

東永茂
本號在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣糧貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事　潘玉田　副理事　金德魁　設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南營乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號
保發運各國火輪船生意兼賣各樣洋什貨機石等此佈
營口西大廟街路北營乙第十三號

丸三洋行分莊
啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價值格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸
丸三洋行分莊謹啓

永順洋行
本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許綴運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議
西北街東櫃（電話九十五番）
西義順棧內西櫃（電話九十八番）

代代木烟公司
本行專售　日本官造紙烟　星象牌（斯達）櫻花牌（撻利）百合花牌（利利）均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆沽來福）清香撲鼻佳美適口而價值極廉　諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

遼河運輸同濟公司
本號經官准由營口包運東清遼河各埠車船貨物凡客商有運之貨望交本號及各處分莊運送決無悞失如蒙貴商光顧者請到本號面議特仰週知
營口南永世街　同濟公司總局
馬蜂溝　同濟公司分局
營守屯　同濟公司分局
通江子　同濟公司分局

SP
糸平公司
本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠開設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下東洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綢布其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光）皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告
營口元神廟街元神廟南邊路西
朝日ビール特約大販賣（電話一百九十二号）

三井　電話　第六十六號　第九十一號
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部
今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候（電話百二十八号）

經理部
○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元，分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、夂地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨屯集資本浩繁有保險以維持之可以有恃無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年王鹿芹先生久在營口信義幸蒙中外所信用前有郭漁笙朱斐章素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦　貴商所樂聞乎如蒙　賜顧請逕至大德亨內面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數客惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益豈淺鮮哉　僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事　僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢弌爲介紹且保費亦較他公司克已　諸公賜顧請　駕臨大德亨內面議不誤
王鹿芹　朱斐章　郭漁笙　仝啓

洋行　電話　第六十六號　第九十一號

周
鐵道遼河裕和盛運輸局（電話八十一號）
在東營口西北街旗昌洋行對門
啓者本號向在日本長崎開設數十年幷店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧
總司理主人　周鶴雲
運輸部主任　高濱麟太郎　謹啓

銃砲火藥軍刀販賣業
本行蒙　官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等類物美價廉零整發售如蒙中外士商賜請至本行面議可也
官許商　武田洋行
營口元神廟街第十號

煉瓦及雜貨販賣
營口元神廟街十號
東海洋行
主任　針生安次郎
張貴良

關東玻璃公司
本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至營口永世街
第五號門牌便是

繩叺莚販賣廣告
精々強勉仕候間不拘多少御注文奉願候尚は當地にて御入用之御方は南永世街三十七號地岩村眞蔵方へ御申越被下度候
大連市西通り二丁目四十三號地
東京　門倉出張所

一、東清鐵道貨物取扱
一、貨物集配
一、瀛車貨物積卸シ
右は安全、速達、誠實、廉價を旨とし精々御便宜を計り申候間多少に拘はらず御出荷奉願候
關東總督府特許
營口西北街（電話一八番）
丸重洋行
牛家屯停車場構內（電話四六番）

青堆子
菅野玻璃廠
玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠特聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價值公道主顧不誤官商幸給顧光特告白
本主人謹白

營口
華盛通轉運行
啓者本行專以代客運送各城貨物格外從廉倘蒙貴商光顧請至本行面議可也各站口皆有分設帳房格外周到不誤主顧現居西水晶宮東頭裕順興內特仰周知
本行總理事人　揚兆豐　敬啓

營口永世街
森醫院
院長醫學得業士　森　矯
齒科部
主任齒科醫士　兒島市郎
啓者本院雖開辦日淺刻已招聘醫員增加看病人購入醫療器械修補手術室並養病室萬端設備日形進境自四肢五臟之病以至打撲創傷等類皆能立刻醫治頃者更添設齒科特招聘該科專門醫兒島市郎君已自四月八號起開辦從事齒患者之治療按齒牙之於人體極有密切之關係其健否即不翅繫胃腸之健否缺落一齒則音聲爲之溷濁面貌爲之失形況疾患權於齒牙始雖一小齲齒漸次侵蝕隣齒遂使全齒失其咀嚼之力疼痛不可言狀轉輾反側主爲難堪因之東國夙有齒科專門之醫研究多年備極蘊奧巧技入神齲齒凹窩則須剃去疼痛而後塡塞以金銀護模西門土等品若門齒缺落則以磁製之義齒欲入齒株無殘根者則以護模製之座床刎植義齒其他或藏齒頭以金冠或欲人義齒不須床架巧技殆奪造化之妙若有齒株無要者則因樂液之力拔去毫無疼痛今世患齒牙者日多而治療之法日益進步幾不憂有齒患矣然中國醫界之風潮尙未發達治齒之術措而不問殊爲慊事本院主引爲已憂惻然感動特添設齒科招聘專門大家以從事齒患者之治療刻設備已全施治懇到其術極巧其價極廉以期普遍救治並發揮近世東瀛醫術之進步務望大方君子有齒患者幸早臨治療勿自貽誤此佈

志岐組
木料棧
材料出售
啓者本棧開設鎮口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價值格外從廉克已凡中外士商光面議願請到本棧

奉天電報

●米國總領事の來着（二十二日午後零時特別通信員發）　米國總領事サンモンス氏今朝來着せり

倫敦電報

●ビ市虐殺と善後策（十九日發電）　ビクロストック虐殺地に出張したる露國々會議員の報告に依るに其慘はオデツサ虐殺以上なりと財政家は如上の虐殺事件をして再び起らさらしめんか爲め最も機敏なる活動を始めたり

●英國外相の沈着　右に關しロスチャイルド卿はエドワードグレー氏に面會したり氏は下院に於ける質問に答へて曰く余は虐殺事件に關する吾人の感情を露國に表示するの任に當る能はず且つ英國艦隊がクロンスタツド軍港を訪問するの約束を變更すべく海軍當局者に要求するは時機尙早しと

●鑵肉問題の一節　合衆國下院農事委員は食肉取締法中より裁判所に申告すとの一條目を削除すへく大統領の要求を容れたりルーズヴエルト氏は肉類鑵詰に製造年月日及詰肉明細書を貼附すへきとは敢て主張せざりき

●教育法案通過　英國下院に於ける教育法案討議終結の決議案は討論を重ねたる後百廿一票に對する二百六十二票にて採決せられたり（二十日發電）

●南阿の支那勞働者排斥　南阿產金地に於ける支那人勞働者に關する政府の政策に不滿の結果英國下院に於ける自由派議員百六十六名は代表者をカメルバナマン氏に遣はし今後支那勞働者の輸入を禁すると共に現住者を退去せしむべきとを要求したるに首相は大体に於て之に答へて曰く若し必要なりとせば一層明白なる歸國令を更に發布すべしと雖も兎に角目下試驗中なる現行法を延ばすとに仝意する能はずと

●英露協商不可能　英國新聞紙は一体に英露協商の不可能なるを說けりビクロストツク虐殺に關して厚く勞働者に同情を表し政府はクロンスタツドに於て行はるべき海軍表情協商に對する運動を取止むべきを要求せり

●露公債不信　デーリーテレグラフは露國公債には此上應募すべからさるを望めり

汽車時刻
關內外鐵道　上り　營口發前八、二〇　七、〇〇　溝幇子同九、四五　九、〇〇　錦州同后二、四五　二、〇〇　下り　山海關發前七、四五　錦州同后二、二五　溝幇子同
東淸鐵道　上り　營口發前六、三五　后六、三五　新民屯發前六、〇〇　溝幇子着同九、五〇　下り　大石橋發前八、二五　后二、一五　溝幇子發后三、〇〇　新民屯着同六、五〇

淡谷　本號開設營口東青堆子發賣栢木方料　栢木元料紅松料木油松方料元木大小　標子廿四尺栢木大杆木板枕木材出售

歐米各國最新流行形　電話二百

諸鐵工製作　營口　山川鐵工

天氣豫報　營口地方　自十八日午後六時至十九日午後六時

日報短評

營口日本人會に就て

日本人會は營口に於ける日本人中の比較的健全分子を網羅せる唯一の團体なり然も創設一年有餘に涉りて何等成績の見るべきもののなきは何ぞや。

成人冷評して曰く、營口日本人會は畢竟之れ默辨を弄び合ふ十六世式討論會に過ぎずと夫れ或は然らん乎。

彼の殖民地に於ける近代の成功者として無冠の帝王を以て目せられたるセシルローズ氏が嘗てケープダウンの英國人協會の會頭たりし時偶々會議中に其會員等が鎖細なる問題の爲に互に喋々喃々しつゝ冗辯に時を費やすを見、君等よ請ふ其口を手に換えよと喝破しつゝ颺然坐を起ちて己が有せるオレンヂ國境の鑛區に赴き滿座の人々をして呆然たらしめしが如き、省みて諸君が頂門の一針たらさるなきを得んや。

今や我營口居留民は將來南滿洲に於て大々的活動を試みんとする機運に向へり、須らく此際鞏固なる團体を組織し協同一致して後始めて事に着手すへきなり、彼の徒らに區々たる末節に拘泥して無責任の言議を試み若しくは邦人間一種の感情に支配されて事を左右するが如き絕對的に吾徒の採らさる所なり。（來小辯）

雜報

●南昌教案の經過　六月二十日　在北京特別通信員

▲數ヶ月以來宿題となり居る彼の南昌事件は例によつて遷延又遷延既に四ヶ月の長日月を閲するも未た調印の運びに至らす候元來此の問題の爭點は知縣江召棠の死因か自殺なるや抑亦他殺なるやにありて其他の暴徒蜂起教會堂破壞佛國宣敎師殺戮など皆此の江知縣の死か導かれたる餘波に候初め江知縣の逝くや江西省民は其一片の遺言を見直に以て王敎士の毒手にかゝりし者と信し大擧暴動し敎會を破壞し宣敎師を殺ろし縣を以て敎士の毒手に斃れし者となし我れ劣らじと無暗に强硬意見を主張し自ら責任を負はさるは勿論佛國より償金を取るへしなど力味たるは既に諸君御存知の事ならんと存し候是れ畢竟江知縣を殺せる者は王敎士にして敎士は暴動發頭人たりとの見地より出たる議論に候はんも天主敎士如何に專橫亂暴なりとは云へ理由もなきに堂々たる地方官を殺害するなど〻は思ひも寄らす是れ必す江知縣か何かの理由により自殺を行ひ其自殺の理由を誤まかす爲め斯の如き遺言をなせし者ならんと私に愚考致し居り候ひき然るに會議の結果は果して吾人の豫想に違はす曾て佛國より償金を取るへしと力味居りし淸國は反て佛國へ償金を仕拂ふてとを承諾致し候吾人は南昌北京に於て淸佛兩國委員間に交涉されし談判の摸樣を絮述する事をやめ直に其結果を記述すへく候乃ち淸佛間南昌敎案は兩國委員徃來交涉の結果五月初旬未た前佛國公使ジユバイユ氏の北京を出發せさる以前に於て既に決定致し候其の內容は大略下の如くに御座候

一、淸國は敎會堂損害賠償として一十二万兩被害僧侶恤欵として一万五千兩を支拂ふこと
二、江西地方官の保護に勉めさりし者を罰する事
三、暴動主動者を重きに從ひ處罰する事
四、知縣王大令は自殺を行ひなから虛構の說をなし衆を惑はせし暴動主動者なるを以て紀念碑建立祭祀等の恩典を一切加はへさる事
五、江西巡撫南昌敎案は省民の責任にして佛國僧侶に責任なしとの事を告示し且つ將來敎案發生を禁止する事
六、殉難宣敎師の爲めに紀念碑を立て敎案の概略を記し以て將來の戒となす事

若し江知縣にして種々の行き掛かり上自殺を行ひ所謂行きかけの駄賃として口より出任かせの揑詞をなし其結果として此の大敎案を釀せる者なりとせは佛國の要求は頗る平和寬大の條件にして淸國外交は寧ろ大成功なりと評すへく候併し若し支那新聞扨ては周總督以下都察院御史連中の痛論せし如く若し佛國宣敎師か暴動責任者なりしとせは其の屈辱的なる流石のポートマウス條約に比へて尙幾萬倍の不出來に候吾人は江知縣か果して自刎せし者にや抑亦佛國宣敎師に殺されし者にや頓と承知致し居らす候故是非の論斷致し兼ね候へ共惲學士南玉帥か全然責任を佛國に負はせ謂々の議論と當時の意見を回想して此の結果に及へは誰か其の結果の意外なるに驚ろかさらんや外務部の屈辱の御史大官の妄論か吾人未た孰れか是孰れか非なるを知らすと雖も兎に角面白き亦滑稽なるコントラストに候はすや

要之南昌敎案は斯の如くにして決定致し候に付き前佛國公使ジユバイユ氏はホツト一安心し調印の日を定めて歸國の途に上り候其日に至たり代理公使クーゲー氏は調印の爲め外務部に至たりしに外務部は意外にも該條件中敎案關繫者に相次で告示を發するは民變を釀すの恐ありとて再び苦情を持ち込みし由に候是れ畢究此の條件の當初に於ける官民との言論との間に少なからさる差違ある爲め若し此條約に調印せば烈しき攻擊に會はんてとを恐れし故なるべく候佛國は外務部が此の如き不信詐瞞の外交を弄するを見て赫然震怒其の要求を刎ね付け調印を迫れるも如何にせん最早佛國か高手的外交に出つる能はさるを想像しタカを括つて懸れる淸國は到底首を縱に振り相も無之若し徒に調印せよいやせぬと同樣の問答を繰り返へし問題の解決を遷延するは佛國にありては万害ありて一利なき次第に候者から佛國は終に根氣負けをなし新任公使ベボースギ來京と共に更に會議を開き候於是淸國は大に策の當たれるを喜び那桐唐紹儀を派して談判を開始し目下尙會議中に候淸國の官場にては佛國は賠償金を三四万兩減少する事暴動の主動者と指定され居る者の內江西の紳士數名は處罰を加へさる事を承諾致せし由傳說致居り候併し佛公使館側にては外務部以前の處置に懲り調印の上ならては決定せる者やら何やら分からずとコボし居る由に候兎に角佛國に於ては淸國例の慣用手段に出て一年も二年も引き延べられては一寸閉口する弱點を持ち居候へば談判をまとむる爲には多少の讓歩は辭せさるべく候へ共既に一度は決定せし者なれは多大の讓歩は承知せさるへく就ては如何に轉んでも其結果は原約と大差なかるべく候畢竟外務部の恐るゝ所は官民の攻擊にして條約其者の內容如何は寧ろ第二の問題に候へは人の噂も七十四日支那官民が漸く南昌敎案を忘却する頃と相成らば固より佛國の要求を容るゝに吝ならさるべく小生は此の理由を以て南昌敎案か原約と大差なき條件を以て調印さるべきを想像致し居り候願くは讀者と共に之を後日に徵せんかな

●大連短信　刀水生

▲輸入千二百萬圓　今日迄の形勢に徵して想像計算するに大連一個月の輸入物貨一個月百萬圓即ち一個年一千二百萬圓也と

▲正金の諸爲替　正金の諸爲替は一個月百万圓內外又郵便爲替となりて內地に致さるゝもの一日約五六千圓即ち一個月十六七萬圓

▲公衆電報　日々日本內地に發するもの二百通滿韓各地に至るもの二百通之れに貼用する所の切手額一個月五千圓又蓋平以南の各地より發する中繼即ち蓋平、熊岳、普蘭店、金州、南關嶺柳樹屯、旅順等より發するものを合すれば千通に及ぶ

▲大連電話新設　未た大連は電話を公衆の用に供し居らさるも今回架設申込者を募集せり新たに三百個の電話機を据付ける計畫なり申込者四百以上に及ぶ目下電柱建築中にあり

▲始政紀念日　來る二十三日を以て遼島半島に於ける始政紀念日と定めらる、大連民政署は此第一始政紀念を壯んにせんとして種々計畫する所あり市中又大に奮發此祝いを賑さんとして計畫中なり

▲大連の商況　トント振はず一体よりせば商况皆無なり、信用取引更らになく賣れ行は懸けとなる、賣らさるの優れるに如かず、左りとて現金取引稀れなり、目下商店は賣るに力むるといふよりは寧ろ、カケ金を聚集するに汲々たり、大連刻下の商况は殆ど蕭靡其極に達す

▲支那銀貨　目下軍票對一割の差あり尙交換を喜こはさる比々皆然る也（十九日發）

●安東縣通信　六月十五日　花園生

▲今日の安東縣　安東縣の生命は一に上流木材の流下如何によりて其死活を左右するは夙に世人の知悉する所なるが本年木材廠の買收材に就て木會（伐木者の團体）との間に交涉中なりしが頃日聞く所によれば從來半數の買收額が今回交涉の結果三分の一に成立せり而かも筏は木材廠の方針如何に係らず鴨綠江の增水を待ちて多數流下の準備中なるも本年は降雨の期後れたるため水量涸渴し目今の所にては到底一本の木材だに流下の見込なければ當市場の今日は上流の顧客が絕無の姿となり爲めに淸商等は目下大に不景氣の嘆聲を漏しつゝあり從て邦人の側にても之に伴ふ多少の影響を蒙り一体の商况自然不振となり居るも一旦降雨ありて增水し多數の木材續々として流下の曉に至らば今日の不振亦期して挽回し得べき見込なり

▲浮棧橋の設置計畫　京釜京義の兩鐵道全通以來新義州當地間は切りに其交通の頻繁を加へ且つ當地の發展に伴ふて各汽船の來泊するもの多きを以て旅客貨物の運搬日に增加の有樣なるも未だ艀渡船上陸地點不完全にして荷揚其他旅客の上陸等甚だ不便なるのみならず大に危險の恐れあるを以て當局者は是等の危害を防がんため更に今回江岸浪花橋筋に浮棧橋を設置せらるゝ事となり本月六日附を以て來る十五日迄其使用方希望の者は申込むべしと夫々一般に通達せられたり

▲堤工の落成式準備　當地の一大事業として當局者が苦心經營せる堤防工事も橋梁其他全部の工事愈〻竣工したれば目下道路の改修（砂礫敷詰）排水工事（溝渠浚渫）の竣工を待ちて來る七月一日に擧行することに決し當局者より目下其準備中なりと

▲安東縣海關道臺　聞く所によれば東邊道臺として中江稅務監督たりし張錫鑾氏は今回當安東縣海關道臺に任せられ同時に學務處總辦たる錢鑅氏は中江稅務監督を命せられたる由

▲福島將軍の一行　同將軍の一行は山座政務局長川崎參謀部員船津副領事等にて昨日來安直ちに龍岩浦へ向け出張明日歸安せらるゝ筈なり

●東鐵嶺公衆電報開始　去る十五日より淸國東鐵嶺軍用通信所に於て和文公衆電報取扱開始せられ料金取扱時間及配達方は他の通信所に同じき旨今般其筋より通達ありたり

●瀨川前會長慰勞會　一昨二十一日夕刻より第三樓に開き來會者無慮四十余名席上神野副會長の挨拶瀨川氏の答辭あり主客共に十二分の歡を盡して十二時散會したり

●目睹耳聞　營口紳士の寄合である瀨川前日本人會長の慰勞會に就て少しく所感を語ると仕よう▲先づ第一に時間ぢや當日午後六時の御案內に相變らず出席者の不揃の爲に彼是九時頃になつてから漸と配膳に有ついた▲營口時間とやらで一時間位待つのは我慢も出來るが考れば考へる程何だか情なくなつて來る▲その次は着席ぢやお客人を正座に据るのは別問題として、〇〇さんは何處に就き召され、〇〇君彼處がよいのゝ舊幕時代に村のお庄屋どんが水呑百姓を集へて鎭守祭でもするように騷いでヤツとのことに其所謂席順なるものが定つた▲其樣な配膳序列を氣にするようなれば何故最初から札でも貼りつけて置かないのか▲主客一場の挨拶が濟む迄は平穩無事であつたが杯が一巡するや否や折角順序正しく？着席してゐた先生達が直にノサバリ出て杯の遣りとりを始める、酌婦は遠慮會釋もなく配膳の前を横行濶歩しつゝそれを跟け步いて甘つたるい惚氣を吐かす宴會が始まつてから半時たつかたゝぬ間に最早杯盤己に狼藉たりでは如何に無禮講と云へ恐れ入つた次第でないか▲主客共に陶然として藝者らしい動物のお座つきとやらがスム、尋常なら一堂和氣靄々と來る頃であるが、今の今迄嚴めしい禮服姿が繻絆一枚となつて御本人御得意の演說を遣ふ爲に立ち上がられた▲その御主意の在る處は判然しなかつたが宴闌なる時理窟ツポイのを仰付けらるゝのは餘り感心しない者ぢや、苟も禮儀作法を辨まへてゐるものゝする態度でないのである▲その演說がヘチると土臭ひのは較ゞ垢拔けのした成上を應いて元のおん座に直られた▲又御演說を弁聽するのかと片唾を呑んで差扣へて居ると今度は劈頭『素寒貧の耗碌爺!!!』などの罵倒が始まつた、罵られたのは伏櫪老人、默つて聽いて居よう筈もない、これも亦躍起となつて冷嘲に酬ゆるに熱罵を以てした、その光景の雄壯なる巢鴨の瘋狂院でも恭看するような氣がして面白い坐興だと云へばそれでも濟むが去りとは苦〻しい次第であつた▲成上先生お講釋の要點は後任會長の資格に就てのことらしい、横文字が讀めて金があつて……なんと丸で墮落式部がゴロツキ書生の品隲でもするような氣がしてイヤで〱で堪らなかつたものだからツイ〱覺えず識らず一聲『馬鹿ツ』と叫んでハツと氣がついて後で口を噤んだ滑稽も演つたものだ同病相憐むとおぼし召してどうか無禮の段は平に御容謝に與りたい▲當夕の正賓である瀨川淺之進君はよくこの殺伐極まる珍宴間に處して始終圓滿に愛嬌を振まかれた度量には流石に口惡の僕も心潛に多少の敬意を拂はなかつたでもなかつた

●喋言喃語（二）　半平

▲妻を携へざる營口紳士中女を買はざるもの纔かに一人を得たり、曰く平岡佳吉、而かも記せよ彼れに端唄、都々逸を作るの逸興あるを

▲男は女を愛すべきなり惚るべきなり、否惚れてやるべきなり、咄何等の痴漢ぞ女に愛され將た惚れられんとする

▲成功の秘訣はビジネスに惚るにありと、然り同時に時と處にも惚ざるべからず滿洲に志を伸べんとするもの宜敷先づ土地そのものに惚れよ

▲婦を持つには心から惚れ來たのになさゐ、第一世帶の持ち樣が違ひまさアとは世帶崩しの一老妓が言、そんじよそこらの滿妻携帶連中果して首肯し得るや否や

日報俳壇

初袷竹屋の渡わたりけり　雷北
ちる牡丹つゝく蕾はなかりけり　甫人
癪やんで二人して釣る蚊帳哉　半骨
羅に文身の龍躍りけり　五丈原
蟬鳴くや御陵の松の一千年　叱太郎
戰捷の御國振り見よ植田面　千曲
遲きこと八刻過て不如歸　野梅

▲左規によりて俳句を募る
課題　夏季雜題　期日に關せす揭載得るに從ふ
課題　夏の月、單衣、蠅、六月末日まで
に本社編輯局俳壇宛に投寄を乞ふ
▲派の新舊問ふところにあらず淸新なるをよしとす
▲選句者は末足齋野梅氏なり

雜報

●遼陽慈善演藝漫評（上）　厄介坊

▲慈善演藝會に引續き軍隊慰問の爲め前後五日間出演せる藝妓連の骨折は又格別である午後七時演藝の引揚と共に家に皈れば又候撥持つ本職の御座敷を勤めねばならぬ其の翌朝は舞臺に昇ると云ふ有樣にて此の五日間は大車輪の如く働き殆と心身共に休む暇さへもなく初日より好評嘖々として觀覽者の喝采を博し遺憾なく慈善演藝會の目的を達するとを得たのは一に藝妓諸君の熱心に依る次第である出演した藝妓は皆何れも遼陽の人氣ものである丈け流石は各〻特技を有して負けず劣らずの大競技であつた先づ指を屈すれば遼東館の〆八、東洋館の万吉、千吉、梅子、萬歳樓の艶子、日露ホテルの房之助、玉家の玉吉、藝陽亭の繁子、春駒、立市、盛進館のおもちや米子、壽亭の三八半玉の松代、末廣の助六、滿洲館の敷島、遼東ホテルの秀鶴、喜樂の玉吉抔の面々である殊に万吉の舞振は一段勝れ演しものも末廣小鍛冶など與床しく〆八の浦島に十八番丈けに申分なく、艶子の忠信は當役とて大人氣、房之助の鐵ヶ嶽は逆に義太夫の本管殊に身幹大なる事とて能く此の役に似合ひ臺詞も高く毎度大喝采で玉吉の團十郎的顏面は三番叟引拔段廻りの兒雷也に扮して最も妙であつた、繁子の猪名川は能く演じ其の所作も力士の人格を失はず先づ無事に演り拔けた、藝妓にあらぬ松代の靜可は落付きて能く、三八の深七は流石に老練一點の申分なく、春駒の中の矢おみわ共に女性丈ありて善く遷りて見え孰れも却々の大出來であつた、大躰の藝評はざつとこゝらで止めて、イザ是より一幕づゝ簡單に藝評を試みて見よう

▲三番叟中の矢春駒さんは玉吉〆八とも善く演つて除けたが春駒の中の矢はもう少し若く作つて欲しかつた引拔段廻りの立廻に至り所作の一致を欠きたるは何となく氣拔けして見えぬ玉吉の兒雷也花道の六法踏は覺束なくも其の形丈は備はり先づ上出來〳〵

▲唐人の舞、妙婦人仙吉に梅子支那人の万吉孰れも舞に凝りたるものと見え手舞足踏一前一却清雅の趣ありしが元來此の唐人といふ舞は派手にあらぬ上品なお座敷舞で看客の感興を惹き難いものだから餘り喝采はなかつたが主人公たる万吉の支那人舞振は優りて巧に見えた

▲千本櫻忠信の艶子は同妓特殊の十八番で素より惡からう筈なく慥に手答へあり靜可の松代は舞臺馴れておるより苦もなく演じ去り兩名とも大采喝藤太に扮したる敷島初日は滅茶〳〵で殆と見るに堪へなかつたが日を追い藤太然となつて見えるやうに爲つた（未完）

●女馬賊比佐與續聞　昨紙記述の如く大連憲兵分隊梁憲兵護送昨早朝當地に着直ちに第一憲兵派遣所に引致され平島憲兵曹長の手に於て嚴重なる取調べを受けつゝあるが伺聞く所に依れば邦人間に於ても彼れの罠に罹り居る者二三有る模樣にて我社の記事を見て始めて知れる如く其筋に訴へ出てたる人もあり因に道路の風説に依れば彼が今回の所爲に就ては或は他に關係者のある如き由なるが果して事實なるや充分精探の上報道する事とせん

●營口座壯士劇

大名式營口芝居伊井一座も愈々準備整頓せしと見へ本夕午後六時より晴雨を論せず開演する由なるが其狂言及び役割左の如し

藝題　眞僞　鳴呼此兵士　一全六幕

塲割　序幕　東京新橋停車塲　返し　芝增淨寺の塲　二幕　芝警察署の塲　三幕　花岡家大廚病室の塲　返し　仝家堀外の塲　四幕　花岡家奥庭雪責の塲　返し　仝家堀外の塲　引割　元の奥庭の塲　五幕　青山墓地の塲　六幕　花岡家別邸の塲　返し　日比谷練兵塲の塲　大團圓

役割

一仲仕馬丁（伊藤一）署長田付明（花岡紫郎）一書生中村剛次（花田義雄）一花岡夫人政子（川上猛）一醫師張田元介（數馬清）一近藤俊左衛門（吉村萬千雄）一花岡令妹芳子（玉木壹吾）一書生仕出し（田島文雄）一僧侶妙念（丸井一醉）一近藤次雄（青柳春水）一醫學士工藤進（秋山次郎）一近藤末雄（荒川清）一書生横田五郎（菊地武成）一陸軍大尉花岡清陸軍少尉花岡次郎（伊井薫）

●妃さん方へ暑中御見舞　朴捻老

▲金之助さんへ（金城）指揮刀一振　使用の途は御存知の事に候得共念の爲め申上候即ち此刀は護身用又は字の如き指揮命令等を下すべき時の刀には無之相當鐘の只叮裁言はゞ裝飾用に御座候

▲お米さんへ（第三）櫻紙一〆、但し使用濟の紙を投遣は御免下され度候

▲おとりさんへ（日本）東ニートに丸頭巾時候柄少々暑くとは存候得共○○へ忍ぶに頗る乙なるものに御座候

▲おたねさんへ（東京館）支那服一着に辮髮のカツラ一個、如何樣とも勝手に使用下され度而し四十度以上に昇騰てはお二人方の生命にも及ぶ事に御座候間御注意迄に

▲たけをさんへ（萬直し）菊の御紋に制服一着之れは愚老がお上より拜領仕候品を特別にお前さんへ差上候間叮嚀に御受取被下度候

▲小うのさんへ（祇園）明治大學落第證書一通今一度御上京せらるべくお手柔にお進めなされては如何に御座候や

▲太郎さんへ（菊水）藝妓戀愛論一冊、○宮さんとの戀情交は如何に相成候や

▲小藤さんへ（醉花）毛牛藥一ヶ月分、ほのかに聞く所によれば有るべき處に無きもの有之候由精々御糊用せられ度候

▲若蝶さん（都）滿洲全圖一枚昨今まは何處の方面に御出張相成候や御熟覽なさるべく候（まだ〳〵）

投書かご

▲公樂園はかぼちや飯國する、おてるはつよの唐南瓜は鐵嶺に去り後とは瓜實顏の藝者とおかめの糸瓜ともとゑの紫茄子が居る計りで女將のおりん先生の顏は青物屋で御座る（八百屋某）

▲當地にて山の字のつく某ホテルの女將は毎日〳〵仲居共を苛酷に取扱ふ手柄として居る何とか制裁を加へる道はありませんか（申告生）

▲馬賊の高淵比佐與は本統に其筋にヤラレましたか天網恢々粗にして洩さずとは能く穿つた格言ですな（愉快〳〵）

▲朴捻老さん藝者仲居の贈り物がお濟みなれば妻君連中へも相當の品をお贈りになつては如何最も此間の日報で見まするに貴老も隨分貧棒と云ふ棒が喰ついて居る御樣子故少々の事は拙者も何とか致しますよ（町奴）

▲平の町の藥舗の二階は常にチヤンコロ先生と淫賣婦が出入して不埒千萬醜体極まる事を爲せり其筋には御存知ないのですか（町内の若物）

▲此間の投書籠に大阪屋書籍店の記事が出て居りましたが僕は或る一二の人の中傷的と思ひしが成る程昨日同店へ買物に行きし所主人らしき者の言語動作實に不都合な挨拶振り品物も高價で仙店より二三割は高價ですよ（間違なし生）

▲四隣人定まりて草陣寂たる公園内に百鬼夜行の百怪しき丸髷の徘徊する由を聞き僕は一昨夜一友相提携杖を茲に曳いて八角堂内に憩ふ折しも手に手を取り合つて來る人影月無き夜半の事なれば確にそれとは知られねども丸髷姿の一婦人と男一人にて有りき二人は四方を見廻す樣なりしに狹くも八角堂の僕等の影を見止めしか遠く隔てし樹下のロハダイに腰を下ろしゝに豈斗らん此の上に一面人糞の有る上とも知らず手をつき小騷して居りしが此の二人のもの果して怪しの丸髷ならばそれてそ天のいたづらと云ふべし亦通常人ならんには實に氣の毒千萬にて斯かゝる所に汚穢の行爲を施す奴てそ又圖太き動物にて斯かゝる奴てそ見當り次第襟首掴かまへ遼河の潮流に投じても倘憎さ餘りあり（實見生）

二上り新內　色男

磯部に立てる彼の松は、汐風うけても色かはらぬ、尊き操を思はんせまいにならぬが。エーヽ人心

同

雨はしよぼ〳〵四疊半、障子にうつる面影は好た同士の、さし向ひ、水ももらさぬ。エーヽ濟き中

廣告

告示

因拍賣於左開之日及在地處施行若有人買者知悉左開條規爲此特示

一拍賣之物件　掉鍾一個外雜物二百三十個
一拍賣之日　定明治三十九年六月廿六日午前十點鐘　光緒三十二年五月初五日午前九點鐘
一拍賣之地　營口正平區下合豐店王鳳來住宅
一拍賣物件之實價不能少與官定價値
一拍賣之物件非現到處不能交付物件
一肯對王鳳來有該賬及欠款者施行拍賣曰以內告知衙門可也

右諭知

明治三十九年六月十九日

營口軍政署

雇入

熟練ノ技師及助手各一名入用希望者ハ至急來談アレ

營口元神廟街　三船寫眞館

病室增築輕便入院

是迄病室少く多數の貴需に背き遺憾とし今回更に增築し輕便、懇切をむね一層院務を擴張し汎く專門の功果を收めす

○全身魔醉○局處魔醉○
○嶄新器械○無痛手術○

梅毒　婦人科　外科　胃腸病　專門　日本醫院

三河樓支店　御料理旅館

弊館は此奉天城外十間房第一風景美なる地にありて最も納涼に適する今般業務擴張と同時に宏壯なる日本風の二楷造家屋新築し樓上等は暑に應ずる設備致居候間續々御光來被下度伏して奉願上候以上

樓主　川上總吉

奉天小南門ノ後　中越洋行

和洋諸雜貨　食料品卸小賣　各種賣藥卸小賣　中越大藥房

但シ賣藥部ハ隨時診察ニ應ス

尚以後吉林長春ハルビン地方ヘ御越シノ方有之ト聊カ御示談申上度義有之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

一靑煉瓦二十万個

右賣拂度候間御希望の方は御來談を請ふ

元神廟街矢野洋行西横　遼河運輸公司

御披露

小亭義皆樣の御引立を蒙り日に增し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓名及仲居を呼寄一層勉強仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候

月　日　元神廟街　翁亭

銘茶　宇治新茶　着荷發賣

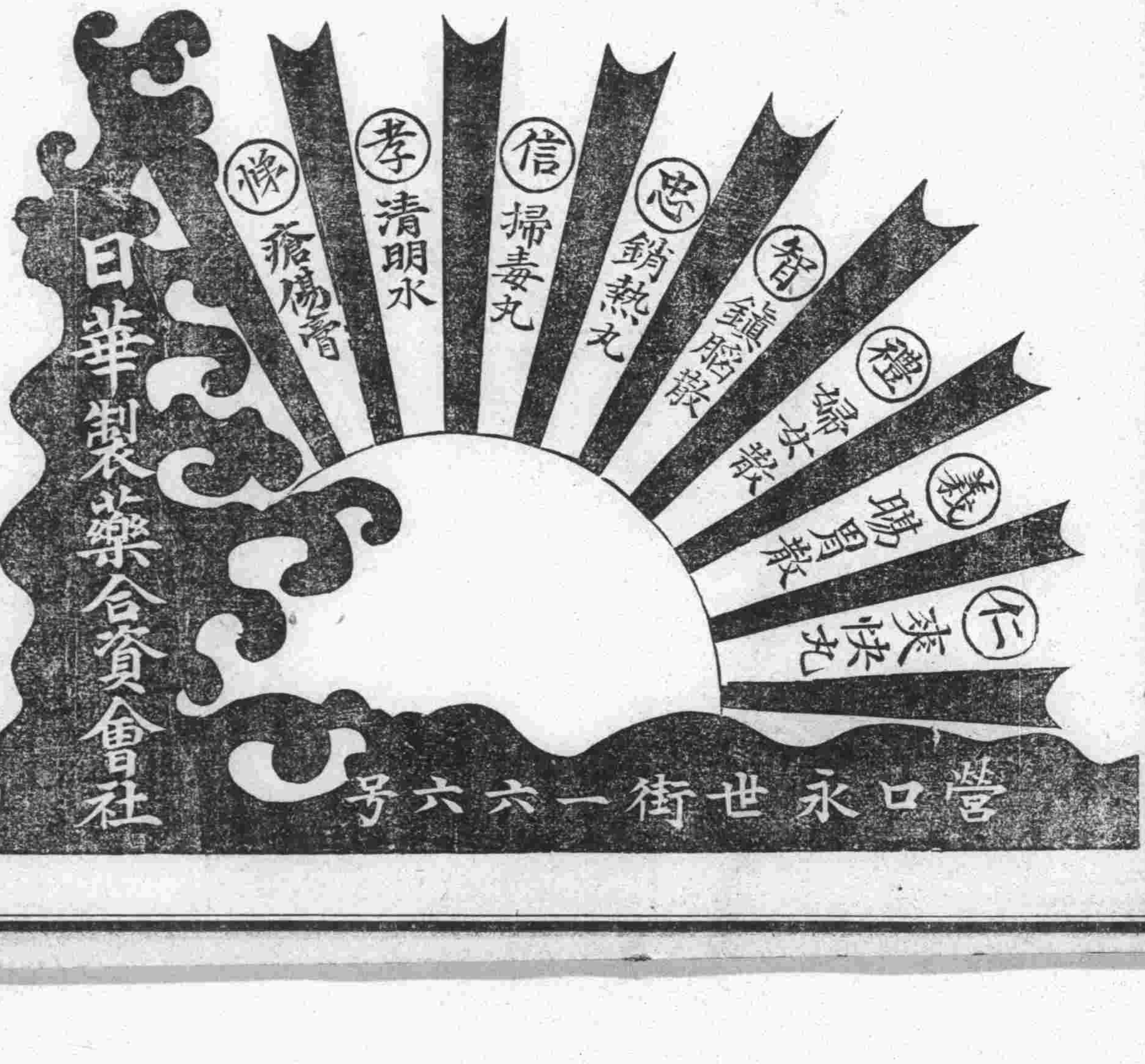
○卸賣は內地並み
○小賣御並み

松の綠　花橘　川柳　玉露（玉露製）　正喜撰（煎茶製）

郵便にて御注文下さるれば鐵道便のある處へは多少に不拘荷爲替の便法により迅速御屆可申候

大連伊勢町四　海陸運輸公司內　宇治林出張　井上賣茶部

救治萬病　濟生八方　神効無比



謹告

弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇家事萬端一大刷新を加へ御手輕御清遊に適する樣店中車輪の大勉強何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候

御客樣　店一同

營口永世街第壹号　電話（彌生）四十一番

醉月

永世街第廿八號

白米、醬油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約　東京タクアン　其外和洋酒類

（無比廉價販賣す）

大原洋行

新荷着
▲板材木▲木炭
▲生石灰▲竹、疊
▲亞鉛板▲洋釘
▲日本米▲石材
營口永世街八十號
喜久洋行
（電話百五十二番）

醇良日本酒
サツポロビール
大販賣
和洋雜貨
洋酒化粧品
酒類
食料品
孔雀印平野水
千賀洋行
奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店
奉天小西關大街路北

石材
石灰
大販賣
英治洋行
（營口西北街）
（電話三二）

東營口西北街
裕和盛
電話八一一番
東清鐵道
遼河
貨物運送業
雜貨商
新荷着
朝日ビール
日本酒澤の鶴
洋酒、食料品
和洋鑵詰、食器
内外煙草、葉巻
エジプト、文具
化粧品、金物類
肥前白米、醤油
酢、木炭、其外
色々
卸並に小賣
彩票
大連
南洋
湖北
每月發賣
本店　長崎
支店　芝罘　鐵嶺　旅順　京城　仁川　木浦

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
（電話百三十五番）
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

○板材木　○蚊張
○金物類　○金庫
○疊建具　○花蓙
○椅子テーブル　○ペンキ
○洋燈類　○文具
○鰹節雜魚　○紙類
○酢醤油　○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
營口西北街
石光洋行
遼陽西門外
石光洋行支店

自造
煉瓦●瓦
並に各種石材販賣
營口靑堆子
加州組
（電話八十六番）

資本金參拾萬圓
日清合股
昌
營口元神廟街第貳九八號
滿洲昌圖株式會社營口分局
總局　盛京省昌圖府東街
既設分局　生家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東淸鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關內外鐵道及海外轉運（與大淸滙運公司連接）東淸鐵道沿路樞要各站分局現方在設備中倘蒙遠邇貨客愛顧務祈貨客親自到本賬房及各處分局賬房面議爲荷特此謹白倘途倘有水濕毀壞短少等之推係本公司賣明按照地市價包補此

日本及清國政府認可招牌爲記
胃症良藥

總售處　日本　東京　大阪　山田安民大藥房
寄售處　電話百九十番　營口永世街　回天堂三木大藥房
啓者此藥爲日本海陸兩軍諸大名醫及藥劑官五名共同研究極力參考始得發明其劑其主効之顯著久已名馳內外誠蓋世無比之良藥也倘蒙　仕商惠顧請認明本館招牌爲記庶不致誤
胃活專治効力
隔食。胃弱。多年胃弱。胃炎。胃痛　胃痙攣（即或時疾筋）食物不進。胸痞。（食物不消化故胸積弊）宿醉。（即昨日飲酒今日倘醉）惡心嘔吐。（見食吐）吐酸嘈雜。膨漲。或小兒吐乳等胃症若少服之則靈驗如神云
胃病形骸
胸張困苦○食物不進或食過多○胸漲痛打臭噫○吐粘涎○吐酸水○血氣逆上則目昏花○腰腿發冷○或大便不下○或時下瀉○或腹內無力氣不時憂鬱○顏色靑黃○身體困倦○或勞働而無力○且無記憶○若少出力則厭○不時好睡此等症皆胃病之形體也
價洋
三日所服藥料定價洋　一角○八日所服藥料定價洋　二角五分
十七日所服藥料定價洋　五角○三十七日所服藥料定價洋　壹元

新荷着
旅行用トランク及手提鞄上等極長靴白靴
寢臺籐椅子台及金庫類コップ
帽子鳥打子及中折帽子ピンポン
化粧具道具化粧品及「ブラシ」類
關東公司雜貨部
（電話五號）

年中販賣
製氷
特別飲料好適
氷
山庄臺・大盛貯氷公司
發賣元
營口元神廟街成功號三階（電話一三四）
田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約店
大連信濃町市場前　大原商店
營口二本町　丸山氷室
營口永世街　衛生軒
營口永世街平野町角　山田氷室
營口第二市場前　松木氷室

上海
中井洋行
專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠並有專館之約凡新聞紙料印書雜誌各式紙訂莊票向棉紗料草板紙張日本機器連史紙彩印字漆學其他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧至西路五十一號門牌可也
中井洋行

一滊船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第一市場を西へ入る
遼河運輸　同濟公司

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候
營口永世街二本町
日本館
（電話百三十）
各位様

お料理
滿月
平野町（電一六二）
滿月支店
平野町入口
店主　青木勝惠

廣公
一各國洋服地一切大勉强可仕候間何卒御來見の上御買求之程を願ふ
並に各國洋服仕立料も大安價に仕て差上可候間何卒御注文を願ふ
營口元神廟街東
寶泰祥
元神廟街日營貿易筋向ヒ
福興洋服所

松岡病院
内科外科眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は嶄新根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士　松岡玄雄
（電話一五一番）

靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ
桑田靴店

開店一週年大賣出し
六月二十五日ヨリ
七月　日マデ
正札一割引
東京新形浴衣地類
呉服太物類
化粧品小間物類
陶器類食料品類
日用品雜貨類
永世街第二市場東
石原商店

宮門抄

二十六日
禮部 太常寺 廂紅旗値日無引 見 溥倬伊立布謝左右翼監督
恩 李侯請假五日
召見軍機
二十七日
兵部 太僕寺 廂白値日旗無引 見 前浙江學政陳兆文到京
請安
召見軍機

外論

節錄上海時報論粵辦鐵路私舉總辦事（續）

然則所舉之人。姑勿爲評斷。而就其行事論之。雖謂一部分之股東。自爲私益計。而置全部分之股東之公益於不顧不爲過也。此等舉動。公然違背商律。侵害衆股東之權利矣。夫人民之權利被侵害。必有仰體朝廷立法之至意。以盡實力保護之責者。豈非地方官之職守哉。然而總督實握一省之司法權者也。脫使岑督非視商律爲無物。則其對於此等不法之行爲。方懲責之不暇。萬無反與承認之理而乃貿貿然爲之批准。爲之達部。爲之具奏。一若國家之法律。不過虛設。而惟官力足以左右之者。然吾不知岑督。於一部分之股東何恩。於全部分之股東何怨。而竟有此顚倒之舉。其不知而誤爲所蔽邪。則一城之內。耳目易周。將何解於冒昧失察。然而猶可言也。其知而故許之邪。則枉法偏袒。以私害公。不可言也。然而今日之現象。固若此矣然則股東所恃商律以保護其權利者。不將至此而絕其望乎。

雖然股東固始終有可主張之權利者也。今彼等數人之所爲雖若此。岑督之所爲雖又若此。然使各股東。群起而反對其事。則商部爲執行商律之最高裁判者。吾敢決其不能強奪各股東正當之權利。而必力爲之救正。可斷言也。爲此而省港股東。有團體會之設。其此意矣。然而省港股東在於岑督勢力之下者居多。今岑督既濫用威權。有逆己意者。輒以阻撓路政入之罪。且爲封禁報館于先。奪其言論之權。又爲禁發電報于後。絕其赴愬之路。致使萬人側目。敢怒而不敢言。嗚呼。野蠻專制之下。慘無天日。然則股東所恃商律以保護其權利者。不又至此而更絕其望乎。（後畧）

中外要聞

●冲壞彰德鐵路　月之廿四日於河南彰德間大雨山水暴發冲毁鐵路約及百里但修繕復舊當在二禮拜之後云

●反對舉充路員　本埠所有粵漢鐵路股東等已於日前開會集議對於廣東九善堂七十二行紳董等所選舉之員一併反對

●江蘇鐵路之組織　江蘇鐵路公司組織已成舉王參議清穆爲總辦張殿撰謇爲協理聞總股爲二千萬兩先於蘇州嘉興間起工嗣嘉興抵滬一段工竣再行推廣

●俄國風潮不靖　俄國兵員與人民開仗於徹羅斯杜克地方正毁折房宇之際俄政府頒佈軍令戒嚴兵備歐州商民對於俄國情形頗抱危懼故俄國股份於歐州市塲均形暴落

莫斯科市刻頗不靖每日於街衢致生紛擾俄政府於聖彼得堡府所有製造廠地方加添兵員以備不虞

●俄國火車誤刻　俄國農民揭竿滋事形勢頗形阽危一節現有一早車於開離塞巴斯杜堡埠前往聖彼得堡市之際耽誤約六句鐘之久始行駛至查係因農民二千排列成隊將襲擊之也

●英女子之爭選舉　英國女子請求選舉權者集成一團揭旗揚威對於戶部尙書亞斯圻斯君之演說於納爾撒木登地方大爲抵牾竟被均命其退場所有社會党員抵牾該演說者亦一併命其退場

●日輪誤觸魚雷　日本輪船於韓國明川洋面（疑是咸鏡道明川）誤觸魚雷覆沒搭客中工兵中佐以及兵員五十四名尙未查明

●東亞同文書院學生行畢業禮　東京東亞同文書院於日前舉行畢業典禮先由院長對於學生訓示並由來賓之駐日楊欽使及前駐華內田欽使演說願兩國力圖敦睦之意遂由院長對於畢業生三十五名發給文憑

●電告派兵彈壓蒙旗　聞黑龍江將軍電致政府略云查杜伯爾特蒙旗及通肯河西巴拜荒地將次放竣惟各該處爲鐵路所經時有洋兵往來加之地方寥濶蒙民錯居華洋交涉既繁伏莽潛滋愈甚現當草萊初闢旗民佃戶麕集未免人類不齊保護彈壓尤關緊要現雖添設民官仍恐鞭長莫及已擬揀派營弁挑選壯兵前往該處巡緝以資鎭攝

●楊蓮帥爲籌商鑄造貨幣事致袁宮保電　宮保鈞鑒洪昨奉財政處戶部通電因銅圓充斥統籌補救等語東省自鑄本不敷用刻下充斥爲患乃南省灌輸所致鈞處於此事若何措畫務乞詳示俾得參酌遵循再銅圓充斥固屬目前大患然中國圜法受病之源則再以兩錢分釐計數以致不能與各國金弊較衡愚見宜乘此整頓圜法之時仿照各國大概速定金本位停鑄一兩之幣改鑄價値十圓之金磅不足則以紙幣及銀圓輔之俾與各國相埓金磅金圓及紙幣必需歸戶部專造所謂中央集權免致成色歧異即各省已造之銀圓銅圓仍可配用若不於金位本源下手徒議銅圓之歸併停鑄終非久害之策我師謀國獻遇事必籌全局謹效蕘獻伏候均裁驤徑印

袁宮保覆楊蓮帥電　楊中丞鑒洪徑電悉卓識偉論由高處著手自可壓倒一切與鄙見略同佩甚昨日戶處來員談商此事曾勸其速鑄新制銀圓爲本位以銅圓爲找零輔助並劃一圓價自可補救現受充斥者爲已鑄行用之銅圓歸併已遲不及補救須由高處入手方能有濟惟戶部庫平尙未較准一時不能開鑄銀元耳金本位籌商已久因無儲本不能議辦祇可先以銀爲本位也凱宥印

●端潤發往軍台之說　聞刑部人云已革科布多辦事大臣瑞潤因案奉旨發往軍台尙未起解間又被錫恒叅劾多欵復奉諭旨解交刑部嚴究曾經各堂憲委員審訊尙無確供其或竟無實據或事出有因大約仍擬奏請發往軍台効力贖罪惟須得有確實供証方能定奪也

●練兵處決計不令豫軍會操　練兵處前派監督居在禮等赴豫調查陸軍內容其腐敗情形已誌日前各報練兵處初擬南北洋會操河南本編入北軍業經頒發命令旋因豫軍統制楊鎭軍嘉時具稟直督自謂隊伍精整內堂外場一切功課較湖北陸軍有過之而無不及袁宮保閱稟後即深惡其狂妄不知練兵之艱難故練兵處派唐在禮赴豫調查軍隊北洋派六鎭標統王振畿及參謀官吳金聲同時前往本月初間唐生生禮王振畿等由豫旋直將調查之腐敗情形報告如下

一帶兵官長口令不一　二野外勤務尙未演習　三體操剛由湖北請到教習而一切器具諸未購辦　四各營軍裝器械參差不齊　五軍界各局所委用之員均係候補人員習氣太重　六藩臬及各局總辦道員出門多以新軍爲衛隊與舊日之防練各軍無異其他腐敗情形難以枚舉練兵處王大臣自接到此種報告深恐累及全軍名譽故近日決計不令會操惟該軍購置軍裝已用去三四十萬金若不會操此欵幾無從報銷聞當局者因此極力運動尙冀生法轉圜云

●俄報論英俄協商事宜　英國近日對付我俄國之政略蓋已一變從前態度矣凡此等情態雖未悉其何自出然變從前睚眦的政略爲親好的政略則亦不容疑焉其親好的政略在甲辰戰役以前已見其一斑至今日則又有加焉近據英報的列克拉扶所載英外務部大臣抱持英俄親好之意見等語且該報所稱若令英俄和衷妥協與英法協商約案以申親好之誼則歐洲平和毋庸維持其保障而得著其成績焉等語　該英報之言蓋有深意存焉英國內政之失敗雖不可掩然蔽至外交一途則亦在成功之域此能補內政之失敗而有餘者也英俄之衝突移之日本而其利旋即歸於英國而不歸於日本換而言之英不庸發射一槍彈子能制勝於我俄國者且不但制勝我俄並以日英聯盟之故亘十年之久猶得維持亞細亞印度迨摩洛哥事起亦自占其地步而英法協商之命意則益致其鞏固凡此等外交手段統以日本聯盟作經又以法國協商作緯其組織已成而錦上尙錦者實爲英國絕好慣政略已英國外交之巧妙已如此而又加諸俄國者何耶於戲此豈等閒之事哉倘虛心平氣而論之凡政治上變動之激烈未有如外交太甚者若徒墨守舊態而無變通之道則不能得其便利究竟昨日之讐敵猶今日之朋友要顧維持勢力之均衡如何而已　且英俄親好之事非但英國甚願之即我俄國亦甚願之遠則在十六世紀之時我俄曾將波斯國之貿易利權折讓於英國其後彼得大帝亦曾畫策英俄同盟其時雖未即成而用意已可觀焉厥後一千七百四十一年暨五十五年並與締成盟約于時列斯德克伯理民伯等皆熱心主張同盟之說矣又後依喀的利那二世之時巴任伯科爾夫男等亦畫策英俄同盟而保的牟欽公暨達利基斯幾公等亦實主張同盟者及至尼古拉斯一世以亞細亞政策爲要圖尙願英之親好而不已曾於克利密耶戰爭以前向英國交涉遂提倡聯盟之議凡此等事皆係我俄之所以求於英國而英亦未嘗爲謝絕我俄謂不足與同盟也　但在克利密耶戰爭以後則英國之視我俄國每以猜忌嫌惡之情而不以親好之情在印度征服以後殊見甚然也雖然此不必拘泥而已倘得無傷列國之睦誼以保持英國之親好則經濟與政治並享其慶福可期而待焉況確保遠東之平和有抗拒太平洋沿岸之實力蓋莫善於與英國聯盟者現在日本受戰後之餘懲其一舉一動統爲英國所指嗾即謀令日本與我俄銷仇敵之念則又莫善於與英聯盟者　將來若得與英聯盟以解決中央亞細亞問題而劃定其勢力範圍猶土耳其之於墺匈國則英俄聯盟之事可決其成矣　但恐將來之形勢雖何等人而不能保證必無其變化然果有足確保我俄之利益者則聯盟惟以此時爲便舍此時而不成猶必有貽噬臍之悔而已矣

雜報

●鋤炸地雷　昨由錦郡來人云城北八里葦山屯地方多有農田於旬前有三十餘耕夫循壟鋤田將近午飯時分前夫首獨芸夫頭一揮鋤間轟然一聲若山岳之崩裂尾後諸夫多爲震仆細視乃一地雷不知何時掩埋土中被鋤炸裂擊得揮鋤之夫上身糜爛附近又擊斃一夫頭顱韲粉外有被創者六七人幸皆保命咸曰斯雷殆前十餘年所埋耶或前六七年所埋耶其詳不得而知惟迄今始炸連斃二命蓋人之死生有時有地幾若有定數焉

●軋藥肇災　昨聞有硝磺局之會辦徐瑞亭者近年於蓋平東關設一炸炮鋪甚鉅自行軋藥積有五六百斤存硝五百餘斤共有二十八匠人由春際所製炸炮堆存盈室先有硝磺局陳君長隨某甲隨陳久寓該鋪賓主甚洽別後三年從未相見前二日甲至蓋城晨起往謁該鋪而途遇其舊識某乙告乙飯後向該鋪尋聚蓋約同往他處也時將七點迨甲謁該鋪留飯罷已九點矣既而乙尋甲至値該鋪事忙與置茶壺几上皆去甲乙對坐茗談將鳴十點則轟然暴震遠屋匠夫等驟訝地震頭目暈眩噴沸藥煙裂響炸炮而軋藥屋聯七椽四壁輒石棟樑椽柱蕩然無存屋置物具筒貯洋錢壹千六百元全無踪跡其軋藥二夫及甲乙二人乃皆焦爛身斃所可異者其房盖七間被藥冲起飛向西關某帷車店墜落院內　壞車棚數間而附近諸鄰房屋未燃竟隔越數巷延燒房屋若干其理初若難解繼有人爲之釋曰斯殆房蓋驟被冲起未驟燃轉藉風力火乃裂散或落於屋簷或落於薪　乃致隔越延燒云

●撈物受累　昨聞市人傳說前日河北所捉之海盜王某其洋錢布袋僅貯銀洋二十八元該犯供其套褲兜內附貯手票三千餘元然該套褲沉溺河底次曉被一駁船撈上兜內手票有否外人皆不得悉乃擲該物於河北岸上復被腳行人某甲搶去轉爲憲兵所知乃將甲傳到研訊知係某駁船所撈釋甲復傳該船長追究咸曰該船既撈得此財容心隱匿盍將套褲滅跡胡爲擲諸河岸遺留後累耶據市人聞彼船夥所云當撈得時疑是河下溺者所遺船長頗覺晦氣故拋擲耳其中眞僞殊屬曖昧誠令人難索解焉

●行人遇盜　昨有蓋平客人顧姓者同一李姓夥友來來營買物二人共帶一搭內計現銀元五十餘枚至老邊近西天已昏暮忽遇紅鬍子一人手執大鎗攔住去路大言喝曰身帶財物速爲留下二人未及回答其賊忽發二鎗李姓心慌將攔拋棄而逃賊速拾起尙在其後追躡顧姓見賊西去遂往東奔得以幸脫禍難云

行
山海關發前八、一五　五、〇〇　北京發前八、〇〇
塘沽同后二、一〇　四、一〇　天津同　一一、〇九
天津着三、三四　五、五五　塘沽同后二、三一　前一〇、四五　六、三五
北京〃六、四五　山海關着　六、一〇　六、一
大石橋發前八、〇五　后二、〇五　大石橋發前七、三五后
南關嶺后九、〇七　后四、〇七　奉天同后
大連着同九、三〇　同　一、三五　鐵嶺着同七、三
開原　昌圖

局
淡谷木廠
永世街一四一（森病院三軒目）
土木建築用鐵材料
滿外錯物諸般
門會街東
喜所
報

昨日氣溫
昨日の氣溫　最高溫度八十七度四　最低溫度六十七度六
昨年同日　高二度一　低一度二

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館料理 第一樓 營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

御料理 並ニ温泉 一力（日新湯） 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話一八七番、四四番） 店主 熊田粂次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號正金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

御料理 梅廼家 營口二本町 田村瀧太郎

料理 萬梅 豊泰門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町三百平九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

さるそば 第一更科 第二更科 營口元神廟街 永世街橋の角

和洋料理 松月亭 營口元神廟街一四三号 店主 住松信太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本ちか

御旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）

會席御料理 高等御旅館 温泉付大勉強キレーデライシヒ 天神樓 奉天小西關大街北側（電話 號）

旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南側 館主 入江熊男（電話 號）

旅館料理店 梅松館 奉天城内灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）

御料理 梅ケ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北（電話二十五號）

旅館料理店 牛肉すき焼 雞肉 日章館 日章亭 奉天小西關大什字街南へ入（電話 號）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北

さるそば 更科 營口支店 奉天小西門外金城館前

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局八〇一〇號 館主 松田平四郎
今回大改良を加へ旅館專業にし御客様の便利を斗り内湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店 新日奉館 奉天大西門際 館主 濱田アヤノ

御旅館料理 扶桑館 奉天大西関大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

日本石炭新荷着 多少に係らず御用仰付られ度候 新玉倉庫 綏定門外 電話百五七

元祖 アイスクリム 山金
斯道の元祖老夫婦が多年の經驗を積みし 味を試み（アイスクリム）の由來如何を知れ
（清國營口平野町）

和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城内東街一八九號 電話 號

煉瓦販賣
上リ竈ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニテ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行煉瓦製造部（電話九十番）

硝子製造 營口青堆子街三百六十四號 菅野玻璃廠
THE OFFICE M. SUGANO'S GLASS MANUFACTORY. No. 364, St. Chingtaizu, YINGKOW.

銘酒 劍菱

遼陽停車場向ヒ 池上出張店

移轉廣告
今般西北街代々木商會隣家屋に大修築を加へ移轉仕り候間舊倍之御愛顧之程伏して願上候也
牛莊亭白

志岐組 營口青堆子綏定門外
本組開設營口綏定門外専辨架造房屋及傚工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸

志岐組 營口青堆子綏定門外
土木建築請負幷ニ諸材料販賣板硝子便利瓦ウヰスキー麥酒類卸賣

御料理本店 金城館 奉天小西關新來當街々（電話十九）

御旅館 金城ホテル 奉天小西門街大什字街（電話二〇）

御披露
追々暑氣に相向ひ申候處各位倍御清榮奉大賀候陳は今般營業擴張と同時に營口支店に於ても在來の婦人一切入れ替へ本に江戸キ粋の美人數十名を呼寄せ候從つて趣向も更り千編一律の遊びにあかせられ候御方様には一入の興味を感ぜらるゝこと奉存候尚樓上等も暑さに應し設備を改め候間御納涼労あつさりせ晩餐を召させらるゝにも好適と存申候御散歩の折柄是非共御試遊被下度伏て奉願上候

御料理支店 金城館 營口永世街（電話八三）

御旅館支店 金城ホテル 營口永世街

御料理支店 金城館 大連市吉野町

御旅館支店 金城館 大連市吉野町

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

御旅館 和洋御料理 奉天館 奉天軍政署指定旅館 奉天城内鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部 奉天城内大南門裡大街（電話十五番）
麵麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髪 裁縫
氷 卸小賣所

大日本政府特定 官製口付紙捲煙草 滿州一手輸入發賣
江副洋行 營口永世街

各種雜貨一概俱全
加藤洋行
營口東海關後街

廣告
スペシヤルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に醸造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり

高等麥酒スペシヤルライト

醸造元 大日本麥酒株式會社
六月
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部（電話五番）
分店 奉天四平街電話十三號 關東洋行

滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ
効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂痲質斯、黴毒、瘰病等ニ特効アリ

爲替相場（六月二十二日）

日本向	百〇二圓二十五錢（軍票百圓に付）
上海向	七十一兩八分ノ三（同）
天津向	一百三圓六十二錢五厘（百弗に付）
芝罘向	一百〇三圓六十二錢五厘

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類 半紙	一〆	二圓九十錢より三圓廿錢
美濃紙	全	七圓五十錢
仙花紙	一帖（六十枚）	六十錢
巻紙		一圓七十錢
状袋	全 二十枚續	三錢二厘以上四錢
西洋封筒	百枚	十三錢以上十八錢

室内裝品飾及寢具 矢野洋行

蒲團	三枚組	六圓九十錢以上六十五圓
座ブトン	十枚	五圓五十錢以上三十五圓
疊	一疊	二圓六十錢以上三圓
薄縁	十枚	八圓
麻緣通	一疊敷	三圓
綿緣通	全	三圓五十錢
由加多織	全	一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 軍票八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙